

図表1 全国の医薬品・医療機器生産額ランキング(2011年)

順位		都道府県	医薬品生産額	シェア	順位		都道府県	医療機器生産額	シェア
1	位	埼玉	760,079	10.9	1	位	静岡	344,864	19.1
2	位	静岡	589,524	8.4	2	位	栃木	164,655	9.1
3	位	富山	575,412	8.2	3	位	東京	114,422	6.3
4	位	大阪	478,174	6.8	4	位	大分	112,083	6.2
5	位	栃木	360,309	5.2	5	位	福島	97,639	5.4
6	位	東京	335,442	4.8	6	位	茨城	92,633	5.1
7	位	神奈川	328,218	4.7	7	位	千葉	90,865	5.0
8	位	兵庫	317,262	4.5	8	位	埼玉	84,958	4.7
9	位	岐阜	284,110	4.1	9	位	山梨	63,216	3.5
10	位	愛知	260,152	3.7	10	位	滋賀	57,973	3.2
11	位	滋賀	250,585	3.6	11	位	兵庫	57,388	3.2
12	位	徳島	228,673	3.3	12	位	愛知	50,173	2.8
13	位	山口	222,413	3.2	13	位	京都	39,615	2.2
14	位	山形	180,654	2.6	14	位	秋田	37,665	2.1
15	位	茨城	170,238	2.4	15	位	青森	35,945	2.0
16	位	岩手	140,494	2.0	16	位	岐阜	33,487	1.9
17	位	三重	123,412	1.8	17	位	神奈川	32,645	1.8
18	位	千葉	110,760	1.6	18	位	群馬	29,961	1.7
19	位	福岡	110,704	1.6	19	位	岩手	26,647	1.5
20	位	佐賀	107,137	1.5	20	位	長野	21,490	1.2
					39	位	三重	3,595	0.2
- 全国			6,987,367	100.0	- 全国			1,808,476	100.0

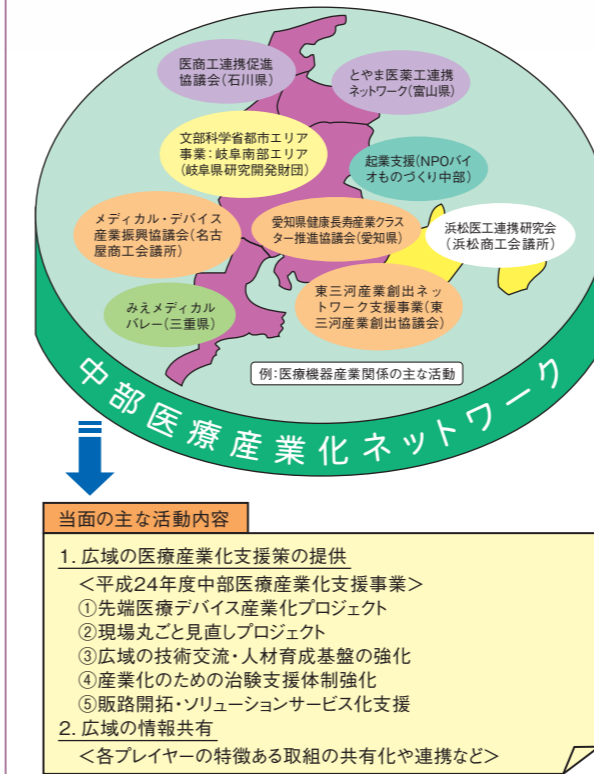
(資料) 厚生労働省「薬事工業生産動態統計」

図表2 愛知・三重県下5港湾における医薬品・医療機器の輸出入動向



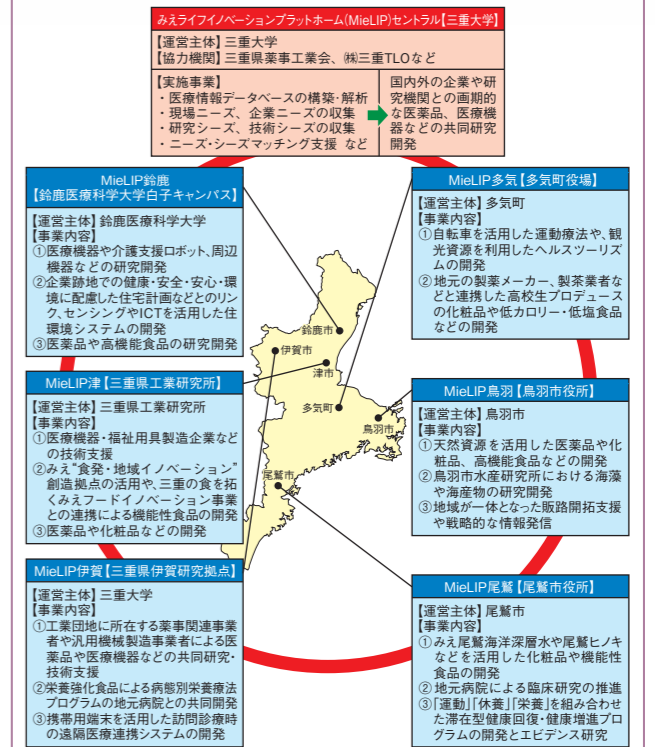
(資料) 財務省「貿易統計」
 (注1) 5港湾は、四日市港、名古屋港、中部空港、三河港、衣浦港。
 (注2) 医薬品は、概況品コード507(医薬品)、医療機器は、HSコード9018(医療用又は獣医用の機器)から9022(エックス線等を使用する機器)の合計。

図表3 中部医療産業化ネットワークの概要



(資料) 中部経済産業局資料などをもとに三重銀総研作成

図表4 「みえライフイノベーション総合特区」構想に基づき県内に設置されるMieLIP地域拠点の事業概要



(資料) 三重県健康福祉部資料をもとに三重銀総研作成

1. 東海エリアにおける医薬品・医療機器の生産・貿易動向

- わが国においては高齢化が進展するなか、国民の健康志向が全般的に高まっているうえ、新興国を中心として、世界的にも医療・介護などに対するニーズが増大しています。こうした状況下、東海エリアにおいては、医薬品・医療機器に関連する産業活動がやや低迷しています。
- まず、厚生労働省の統計より、2011年における東海3県(三重・愛知・岐阜)の医薬品ならびに医療機器の生産動向をみると(図表1)、医薬品生産の全国シェアは3県合計で9.6%、医療機器生産の全国シェアは同じく4.8%と、ともに1割に届いていません。東海3県の製造品出荷額等の全国シェアが約2割(2010年:18.3%)を占めている状況と比較すると、医薬品・医療機器の生産面で、東海エリアの全国的なポジションは低位にとどまっていると言えます。
- さらに、東海エリアの5港湾(四日市港・中部空港など)における医薬品・医療機器の貿易動向をみると(図表2)、医薬品については全国と同様に大幅な輸入超過となっており、2011年には900億円を超える貿易赤字を記録しています。さらに、医療機器についても、輸出の頭打ちを背景に2009年より貿易赤字に転じています。したがって、今後は当エリアにおいて、製造業の技術力などをこうしたヘルスケア分野に結実させることを通じ、産業力の強化を図っていくことが望まれます。

2. 東海エリアにおけるヘルスケア産業の振興に向けた取組

- 東海エリアにおける医薬品・医療機器を中心としたヘルスケア産業については、前述のような現状となっているなか、その振興に向けて、このところ様々な取組が始動しています。
- まず、2012年5月には、中部経済産業局の主導のもと、産・学・官の連携組織「中部医療産業化ネットワーク」が設立されました。この組織は、愛知県などで医薬品・医療機器分野の振興に取り組む関係機関が集まる場として機能し、各機関の情報を共有するほか、有望な医療機器の市場化などに向け、企画・研究開発・治験・製造販売の各段階できめ細かな支援策を展開する方針です(図表3)。
- さらに、同7月には、三重県の「みえライフイノベーション総合特区」が国の地域活性化総合特区に指定されました。この構想は、県内の診療情報などを集約したデータベースを構築し、これをもとに新薬などの研究を進める「MieLIPセントラル」を三重大学内に設置するとともに、6つの「MieLIP地域拠点」を設置し、地域特性を生かしたヘルスケア産業の創出などを目指すものです(図表4)。
- こうした取組を経て、当エリアにおけるものづくり力や独自のアイデアなどが新しい医薬品・医療機器の開発に結びつき、域内における医療水準の向上や関連企業の集積などを通じて、ヘルスケア産業が当エリアで基幹産業化・輸出産業化していくことが期待されます。

渡辺 洋介